

主 題：望みなき人々への希望**聖書箇所：エゼキエル書 37章1-10節****イシドロ牧師の紹介：近藤牧師より**

私たちは神から大きな使命をいただいています。それは、私たちが今賛美したように、素晴らしいキリストの福音を伝えるという使命です。今日はフィリピンのマニラから、私たちがよく知っているエドワード・イシドロ先生をお招きしています。ここでメッセージをしていただくことは2回目だと思います。彼はマニラにあるインターナショナル・バプテスト大学、神学校の副学長です。学長は私たちが長年支援しているガビノ・ティカ師ですが、1972年に先ず神学校が誕生し、6年後に小学校、14年後に大学ができました。ですから、幼稚園から大学まで、そして、神学校と400人以上の学生がそこに集っています。3年間、浜寺に滞在したレイマー兄もその中の一人の学生です。

ガビノ先生が脳梗塞で倒れられてから、エドワード先生は大きな責任を負われて学校での働きをされています。同時に、開拓伝道を始められて、インターナショナル・バプテスト教会カヌーガン・パシフィックという場所で、ご自分の家族を入れて7人から出発し、現在は100人以上の人たちが集って、今、新しい場所に土地を購入し新会堂を建設中とのことです。今年の10月に1回目の建設が終わると聞いています。

レイマー兄の帰国が決まってから、エドワード師は「私が日本に行きます。ぜひ、浜寺に行ってレイマーを連れていっしょに帰ります。」と言われ、それならぜひお越しくださいということでお招きしました。今日、みことばの解き明かしをお願いできますことを感謝しています。拍手をもってこの講壇にお招きします。

イシドロ牧師から：通訳＝岡田牧師

今日、またここに戻ってくることが出来たことを喜んでいます。マニラを離れてもここは私にとって第二の故郷のように感じて、ここにいることを心からうれしく思っています。また、皆さんにレイマーのことを気遣ってくださったことを感謝します。レイマーは私にこの3年間皆さんといっしょに過ごすことができたことを本当によかったと伝えてくれました。今日午後、私たちはフィリピンに戻りますが、唯一残念なことは、レイマーをここに送ったときは独身でしたが、帰るときも独身であるということです。帰るときは倍になっているかと期待していましたが…。私の家族も皆さんに挨拶を送っています。また、フィリピンの働きに関わる人たちも皆さんに対する挨拶を送っています。私たちの働きの一部を担って協力して働いてくださっていることに感謝します。近藤先生とは長年に亘って親交が与えられ、兄弟のように感じています。みこころならこの働きを継続して行くことができるようにと願っています。皆さんに私の心からの招待をお伝えします。どうぞ、フィリピンに来てください。

先週、私は鹿児島に行って来ました。そこで湊崎先生が為さっているろう者への働きを見ました。それは私にとって大きな祝福でした。なぜなら、そこで大きな挑戦を得たからです。皆さんのような教会を見ることができて感謝しています。日本においてクリスチャン人口は非常に少ないことは知っていますが、皆さんが献身的にキリストに仕えておられる姿を見ることができます。それは私にとって大きな励みになっています。レイマーがフィリピンに戻ることは悲しいと知っています。同時に、彼はここに来ることができたことを喜んでいられることも知っています。彼がフィリピンに戻って神学校での学びを終えるために継続してお祈りいただきたいと思います。

今朝、私が皆さんへの祝福の源となるように願っています。

メッセージ：エゼキエル書 37：1-10

「37:1 主の御手が私の上にあり、主の霊によって、私は連れ出され、谷間の真中に置かれた。そこには骨が満ちていた。:2 主は私にその上をあらゆるちろちろと行き巡らせた。なんと、その谷間には非常に多くの骨があり、ひどく干からびていた。:3 主は私に仰せられた。「人の子よ。これらの骨は生き返ることができようか。」私は答えた。「神、主よ。あなたがご存じです。」:4 主は私に仰せられた。「これらの骨に預言して言え。干からびた骨よ。主のことばを聞け。:5 神である主はこれらの骨にこう仰せられる。見よ。わたしがおまえたちの中に息を吹き入れるので、おまえたちは生き返る。:6 わたしがおまえたちに筋をつけ、肉を生じさせ、皮膚でおおい、おまえたちの中に息を与え、おまえたちが生き返るとき、おまえたちはわたしが主であることを知ろう。」:7 私は、命じられたように預言した。私が預言していると、音がした。なんと、大きなとどろき。すると、骨と骨とが互いにつながった。:8 私が見ていると、なんと、その上に筋がつき、肉が生じ、皮膚がその上をすっかりおおった。しかし、その中に息はなかった。:9 そのとき、主は仰せられた。「息に預言せよ。人の子よ。預言してその息に言え。神である主はこう仰せられる。息よ。四方から吹いて来い。この殺された者たちに吹きつけて、彼らを生き

返らせよ。」：10 私が命じられたとおりに預言すると、息が彼らの中にはいった。そして彼らは生き返り、自分の足で立ち上がった。非常に多くの集団であった。」

「父なる神さま、今、私たちはあなたの恵みの御座のもとに集まっています。どうぞ、あなたが特別な形で私たちの心に語りかけてくださるように、そのことをイエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。」

私はこのメッセージのタイトルを「希望のない者に対する希望」と名づけました。もしかすると、ここにおられる方々の中には、それは私には関係のないことと思っておられるかも知れません。なぜなら、皆さんは「私は希望をもっているから、私は貧しくないから、私たちは豊かな民族だから、」と言われるでしょう。でも、皆さんがそのように思っているなら、皆さんは様々な物質的な事柄に目を向けてそのようにと言われるのかも知れません。けれども、それは希望のない状態であることを皆さんは覚えていなければいけません。皆さんはまだ若くて希望に満ちていると言われるかもしれません。それも間違っています。皆さんの国では非常に多くの自殺者がいることは皆さんもご存じでしょう。事実、いろいろな統計を見ると、実際に、この日本で一日に100件近い自殺があることが記されています。クリスチャンと呼ばれる人でもそのようなことがあります。今日、皆さんにお伝えしたいことは、私たちクリスチャンはそのような状況に立つべきではないということです。なぜなら、私たちには常に希望のない者たちへの希望があるからです。

ある一つの話を読んだことがあります。そこに書かれていたことは、サタンが家でセールをしている、そのことです。そこではサタンが使っているいろいろな道具がそれぞれ値段が付けられて売られています。これらの道具はみな悪に満ちたものです。憎しみ、妬み、欺き、偽り、また、高慢です。これらの道具が非常に高価な値段で売られていました。けれども、その端の方に一つの道具が置かれていました。明らかに、他の道具よりもよく使い込まれたものです。また、それは道具の中で最も高価な値が付けられていました。その道具には「落胆」という名が付けられていました。ここにおられる皆さんの中で、どれ位の方が人生の中で落胆を経験されたことがあるでしょう？多分、すべての方が経験されたことと思います。サタンはそこで尋ねられました。「なぜ、落胆がこの中で最も高価なのですか？」と。サタンはこう答えたそうです。「他のどの道具よりもこの『落胆』が私にとって最も良い道具なのです。他のどの道具を使っても私が敵を倒すことができないときに、私はこのとおきの道具を使うのです。なぜなら、クリスチャンを含めたほとんどの人はこの『落胆』が悪魔の道具であることを知らないからです。」と。サタンは人々が様々な絶望や落胆に打ち負かされて、自分たちにはもう希望がないと絶望の状況に置かれることを見ることほど喜ぶことはないのです。皆さん、このようなことを経験されたことがあるかもしれません。皆さんの周りの様々な状況が余りにも重く押し掛かって来るゆえに、もう支えることが出来なくて落胆の中に絶望し切ってしまうこと、皆さんの周りにある様々な問題、事柄が余りにも多く積み重なるゆえに、どうすればいいのかわからない状況に置かれる、そのようなことを経験されている皆さんはどうぞ喜んでください。なぜなら、私は今日皆さんに良い知らせを持って来たからです。希望のない者に希望があるのです。

☆希望のない者への希望

1. 私たちの人生にはまったく希望を見出せない状況に陥ることがある 1－2節

ここに記されている状況は、イスラエルの民が捕囚の中にあって、まったく希望のない、すべての人が死に絶えてしまっているような様子です。ここにはいのちがなかったのです。人々は散らされていました。占領して来た軍隊によって人々は滅ぼされてしまっていたのです。人々の死骸は戦地に散らされて置かれたままでした。このような敗北から彼らが再び立ち上がることは不可能であると考えることしかできませんでした。これはまったく不可能なことでした。

皆さん、キリストをもたない人ほど絶望的な状況に置かれている人はいません。サルテスという人は「人間は自分以外のものに頼ることはできない」と言います。その人は孤独であり、無限に重なる様々な責任という波の中で埋もれてしまっているような人物です。希望がまったくないのです。自分で決めた目的以外に人生の目的をもつことがない、自分で作り出した人生の歩み以外に進むべき道を見出すことができないのです。だから、神をもたない人たちはなぜ自分たちがこれほど孤独で疎外されているのかということに対する説明を見つけることができないのです。確かに、聖書は正しく、真理を教えています。エペソ2：12に「そのころのあなたがたは、キリストから離れ、イスラエルの国から除外され、約束の契約については他国人であり、この世にあって望みもなく、神もない人たちでした。」と、私たちがキリストをもっていなかったときの様子がこのように記されています。私たちが歩んで行く人生の中では、ときにまったく希望を見出せない絶望的な状況があります。この世にあって私たちはまったく答えを見出せない状況に陥ることがあります。お金があっても答えを見出すことはできません。たとえ、私たちが有名になったとしても、所有物であっても、地位でも、何であっても、私たちは答えを見出すことはできま

せん。私は皆さんに答えを見出すことが出来る一つの事柄をお伝えします。それが二番目のことです。

2. 絶望的な状況にあって神だけが答えをもっている 3節

3節「主は私に仰せられた。「人の子よ。これらの骨は生き返ることができようか。」私は答えた。「神、主よ。あなたがご存じです。」、私たちはいつもこのような状況では不可能ですと言います。いのちを造り出すことなど不可能だと。死んでいる人たち、散らされている骨々が新しいいのちをもつことなど無理なこと、不可能だと。けれども、神は私たちよりもはるかに知恵をもっておられます。幸いなことに、エゼキエルは神を知っていました。ですから、彼は「あなたはご存じです。この骨が生き返るかどうか…」と言います。神だけが希望のない絶望の状況にある答えをもっているのです。マタイの福音書19章のみことばを見てください。25-26節「弟子たちは、これを聞くと、たいへん驚いて言った。「それでは、だれが救われることができるのでしょうか。」：26 イエスは彼らをじっと見て言われた。「それは人にはできないことです。しかし、神にはどんなことでもできます。」、皆さん、神は不可能を行なうことに常に喜びをもっておられます。ある人はこのように言います。皆さんが絶望の中に立って神に目を向けないとき、それは皆さんが神が立っている戸口の扉を閉めているようなものだ。

人間は常に限界を見つけます。けれども、神はそのような限界をはるかに越えるお方です。そこには絶望的な状況はありません。そこにあるのは、神がそれを越えることが出来ないということを信じ続けることに疲れた人しかいないのです。希望を見出せない人がいるだけです。詩篇42：11に記されている通りです。「わがたましいよ。なぜ、おまえは絶望しているのか。なぜ、御前で思い乱れているのか。神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。私の救い、私の神を。」。

スティーブ・グリーンが歌った非常に有名な曲があります。このような歌詞です。「神、神さまだけが、私たちが知らないと言っている真理を示してくださる方です。良いことも悪いこともすべて、私たち人間は神の計画を変えることはありません。それらは神だけのものだからです。神、神さまだけが全世界の王座に就くことができる唯一のお方です。生けるすべての者がその賛美をこの方だけにささげるように。神、神だけが。」。神に対して希望をもっている者はだれ一人絶望を体験することはありません。皆さんは絶望をもったことがありますか？答えは簡単です。自分の状況に目を向けることを止めて、神を見上げなければいけません。悲観主義者はあらゆる機会に問題を見出します。けれども、楽観主義者はあらゆる問題にすばらしい機会を見出すのです。どうぞ、絶望しないでください。なぜなら、神が答えをもっておられるからです。

3. 神のみことばは私たちに新しい方向を示す 4-8節

見てください。まったくいのちのない干からびた骨が、再びいのちを得ることなど考えられないことと思いませんか？想像してください。近藤先生、岡田先生が神に呼ばれて「墓地に行きなさい」と言われたとしましょう。墓地の真ん中に立って、そこに埋められている亡骸に向かって神のみことばを語りなさいと言われたとして、彼らが墓石に向かってメッセージを語っている姿を見るなら、皆さんは彼らはおかしくなったと思われるでしょう。神のみことばをそのような骨々に語るなど…。しかし、神の方法は人の方法とは違うものでした。人間にとって賢いと思われる方法があるかもしれませんが、それらはすべて神の前に正しいものではありません。ここでエゼキエルは人間的な考えを横に置いて、神のみことばに対して「分かりました。私はその通りします。」と答えて、実際にその通りに行ないました。

神のみことばが語られるとき、そこにはすばらしいことが起こります。変化が起こります。新しいことが起こって来ます。神のみことばは人を変えます。人の心を変えます。この聖書だけが読んだ人の心を変えるのです。皆さんが国会図書館に行ってそこに置かれているあらゆる尊敬する人の本を読んだとしても、もしかすると、それは皆さんの考え方をあるかもしれないかもしれませんが、皆さんの心を変えることはありません。けれども、皆さんが神のみことばを読むときに、もし皆さんがこの日本の社会にあって最も悪に染まった人物であったとしても、神は皆さんの心を変えることができます。そして、それを通して神は皆さんの思いも変えてくださり、皆さんを新しい人物へと変えることができるのです。ヘブル4：12には「神のみことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。」とあります。これが神が言われていることです。キリストがこの地上に来られたとき、サタンが主イエスを試みたとき、誘惑したときに、イエスは常にみことばを使われました。そして、主は常に言われました。「これが記されている、記されている、記されている…」と。信仰はみことばを聞くことによって起こるとローマ書10：17に記されています。「そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。」。詩篇119：105に記されている通りです。「あなたのみことばは、私の足ともしび、私の道の光です。」。神のみことばは私たちが捕えられている絶望という名の牢獄の中に、光をもたらすすばらしい窓なのです。この窓を通して私たちは、すばらしい希望を与えてくれる私たちが進むべき道を教えてくれる光を見ることができるのです。皆さん、見てください。この聖書は私たちに新

しい道を示してくれるのです。それだけでは十分ではありません。皆さんにお伝えしたい四番目のポイントが9－10節に記されています。

4. 神の御霊は人々に新しいいのちを与える 9－10節

みことばによって私たちは導かれる必要があると同時に、私たちは神の御霊によって導かれる必要があります。A・W・トーザーは「宗教的な指導が、たとえ、それがどれ程正しいものであっても、それだけでは十分ではない。その教えは光をもたらすかも知れないが、人に視力を与えるものではない。」と言っています。「光」と「見ることができる」は似た概念であるゆえに、人々に大きな悲劇が起こりました。パリサイ人たちは「光」がこの地上を歩いていた姿を長い年月見続けていました。けれども、そのすばらしく輝く「光」は一筋たりとも彼らの心の奥底に照り輝くことはなかったのです。「光」だけでは不十分なのです。聖霊が心の中に手術を施して見るようにしなければ、そこには救いに至る信仰は起こらないのです。福音はすばらしい「光」です。けれども、聖霊だけが私たちに視力を与えるのです。ローマ8：10で「御霊はいのちである」と言います。「もしキリストがあなたがたのうちにおられるなら、からだは罪のゆえに死んでいても、霊が、義のゆえに生きています。」と。人々の中には聖書のことばを暗唱していても救われていない人たちがいます。サタンでさえ聖書はよく知っています。けれども、彼らは救われていません。なぜなら、彼らの心のうちには聖霊が宿っていないからです。

聖霊こそが私たちのうちに働いて、私たちを回復させるのです。もし、聖霊が私たちの心に入ることがなければ、そこには本当の変化は起こりません。それゆえに、皆さんに聖霊の内住があるなら、たとえば、外側にどのような戦いがあってもそれに勝ち続けることができます。Iヨハネ4：4のことばを思い出してください。「子どもたちよ。あなたがたは神から出た者です。そして彼らに勝ったのです。あなたがたのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力があるからです。」、ですから、キリストが天に戻られたときに、キリストは私たちに慰め主を与えてくださったのです。その方こそが聖霊です。なぜなら、キリストは人が様々な困難を通ることを知っていたからです。ですから、この聖霊が私たちに慰めを与えてくれるのです。ですから、キリストがうちに宿っているその人にとって絶望は考えられないことです。

終わりに、皆さんに神の約束を思い出していただきたいと思います。そして、神が与えてくださっている約束を信頼していただきたいと思います。神は悪魔を燃える火の池に投げ込むことを約束しておられます。神は死と地獄をこの燃える火の池の中に入れることを約束しておられます。私たちをこの罪の現実から解放してくださることを約束しておられます。神は私たちに新しい天と新しい地とを約束してくださっています。そして、神は私たちに永遠に神とともに過ごすことを約束してくださっています。神は私たちの涙をすべて拭い去ってくださることを約束してくださっています。神は私たちにもう死がやって来ない場所を与えてくださることを約束しています。そこには嘆きもありません。そこでは泣くこともありません。苦しみも病もガンもありません。古いものは何もないのです。そこには白髪もありません。神はすべてのものを新しくすることを約束されています。もし、皆さんがクリスチャンであるなら、どうぞ、この神にある生ける望みにしがみついてください。もし、あなたが救われていないなら、皆さんには希望がありません。皆さんが為しておられることが何であってても…。どうぞ、皆さんが希望をもたないままで死ぬことがありませんように。神が私たちを祝し守り続けてくださるように。